



公益社団法人 小平市シルバー人材センター

会報 第181号



令和6年4月6日



警察学校前にて 伊勢田 新（上水南町）

目次

令和6年度三委員会事業計画	2・3
仕事紹介（私の職場）	3
安全就業【自転車用ヘルメット】・ 令和6年度 安全就業標語の審査結果・ 「安全心得10ヶ条」	4
センター「パネル展」を開催しました・ 「令和6年夏号」は、リニューアル誠面でお届け!!・ 環境グリーンフェスティバルに出店します!	5
第14回 定時社員総会開催のご案内	5
会員のひろば・年輪川柳	6
理事会の動き・会費納入のお願い・投稿要項	7
新しい仲間・追悼・事業実績・編集後記	8

No.181

発行 (公社) 小平市シルバー人材センター
編集 広報・ボランティア委員会
年輪編集グループ
住所 東京都小平市小川東町4-2-1
小平元気村おがわ東内
TEL 042-344-2120/2108
FAX 042-345-9400
Email kodaira@sjc.ne.jp
ホームページ <http://www.sjc.ne.jp/kodaira/>

令和 6 年度三委員会事業計画



組織活性・安全委員会

委員長 植松 睦枝

当委員会では、会員の能力や経験を活かして安全に活躍できる組織にしていくためにここに記す事業を行っていきます。

「安全はすべてに優先する」との基本理念のもと、会員の安全に対する意識向上が高まるよう呼びかけます。令和 6 年度は、感染症対策上、近年開催ができていなかった講習会等について、小規模開催等ができるよう取り組んでいきます。

1. 第 4 次長期 5 か年計画の検証・規程の整備
 - (1) 会員数・就業率・契約金額・就業延人日数の数値目標の検証と分析
 - (2) 就業状況等の検証と整備
2. 組織活性
 - (1) 総会や地域班長連絡会等を活用して、健康管理・安全意識・交通安全の高揚を図る講演会を実施する
 - (2) 新入会員説明会・新入会員ガイダンスの活用
 - (3) 地域班活動活性化の支援

(4) 市民まつりへの参加

3. 安全管理体制

- (1) 事故の発生状況について原因分析と再発防止等の検証
- (2) 安全就業に関する研修会などに参加

4. 事故防止措置

- (1) 事故防止と安全就業の徹底
- (2) 安全就業意識の高揚を図る
- (3) 自転車用ヘルメットの着用の推進

5. 会員の健康管理

- (1) 小平市の「基本健康診査」及び「特定健康診査」の奨励
- (2) 体力測定

6. 安全教育

- (1) 交通事故防止・防犯に努める
- (2) 職群別、仕事別グループの安全管理の徹底
- (3) 救命応急の知識向上に努める

7. 安全意識の普及・啓発

本年度も安全に楽しく就業できますよう会員皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

広報・ボランティア委員会

委員長 太田 史郎

シルバー人材センター事業の意義・理念及び事業活動等を今まで以上に広く市民に周知するとともに、事業への理解・協力を得るため、市内全域でのあらゆる機会をとらえ、より効果的な普及啓発活動を推進します。また、社会奉仕活動を推進し、地域社会に貢献する事業の展開に取り組んでいきます。

1. 会報誌『年輪』の発行

発行は季刊（4 月・7 月・10 月・1 月）とし、会員を主体とした編集グループで作成する。
2. センター紹介映像の活用

センターホームページやパネル展などにおいて放映する。
3. センター掲示板の活用

センター事業や行事をタイムリーに会員及び市民に伝えるため、事務所内掲示板の有効活用を促進する。
4. 公共施設等における広報活動

センター事業を広く市民に周知するため、10 月の東京都内シルバー人材センター広報活動

強調月間等を中心に次の広報活動を行う。

- (1) 市内駅前ポケットティッシュを配布する街頭宣伝活動を実施する。
- (2) パネル展を市役所において、10 月と 2 月に実施する。
- (3) イベントの参加やパンフレットの配布等で、センター活動を PR する。
5. ホームページの管理・運営

センターの情報や、活動状況等を随時掲載し、更新頻度を高める
6. ボランティア活動の推進

公益法人としての役割を果たすため、市内一斉清掃活動や、会員の生活環境に合わせた地域班ボランティア活動を行う。
7. 公報等配布事業に伴う地域見守り活動

市内全域で行う公報等配布事業を通じて、地域の防犯・見守りという「安心・安全な街づくり」に貢献する。

以上の活動を通じて、シルバー人材センターの PR に積極的に取り組んでまいりますので、会員の皆さまのご協力を宜しくお願いいたします。

就業促進委員会**委員長 中村 馨**

人手不足が深刻化する中で、企業等の需要を把握し、新規事業の開拓に努めると共に既存の事業所の動向に注視し、会員の能力や経験を生かせる場を探求しながら積極的な事業拡大に取り組みます。また、会員が主体的に運営する組織において、会員増強は就業を確保する上で不可欠な要因となることから、新規会員の入会促進に努めます。

1. 就業機会の拡大

(1) 既存事業所の対応

(2) 新規事業の開拓

(3) 労働者派遣事業の拡充・拡大

(4) 適正就業

会員が適正な就業を実施するために「適正就業ガイドライン」を活用した研修等を継続的に行う。

2. 会員の増強

パンフレットやチラシを市内の会員の少ない地域に配布して、会員拡大活動を行う。

3. 退会会員の抑止

(1) 年に 2 回就業等相談会を開催し、未就業会員等の退会の抑止に努める。

(2) 未就業期間が 6 カ月以上の会員に対し、電話等にて定期的に接触を図り、就業の紹介や就業等相談会等の各種事業の案内を行い、退会の抑止に努める。

4. 就業促進

(1) 月に 1 回、総合相談コーナーを開設し、就業促進委員が就業内容についての質問や就業中の会員からの相談等に対応し、就業促進および課題解決を図る。また、既存会員にも周知を積極的に図り、幅広い相談対応ができる場として運営できるように努めます。

(2) 「お仕事情報」を随時更新し、事務局内のホワイトボード等に掲示することで、常に最新の就業情報を発信し、会員の就業促進を図る。

5. 仕事別グループの充実

仕事別グループ懇談会の開催などにより、自主的な活動ができるような支援に努める。

この他にも、企業訪問やセンターパンフレットの配布等、現在行っている事業も継続的に実施し、新規事業の開拓・新規会員の入会促進にも努めていきます。

「仕事紹介(私の職場)」**—— <植木職一年生> ——****鈴木町 佐々木 明美**

両親を妹と二人で介護しておりましたが、一昨年父が亡くなり少し時間ができたので母を妹に押しつけて、また何か仕事を始めたいと就労説明会に出てみました。特技も無く家事も得意でないので、緑が好きというだけで思い切って植木班に入れていただきました。植木班は小平市を多摩湖線あたりで東西に分け、西側が A 班、東側が B 班となっていて、私は鈴木町に住んでいますので B 班になります。そして B 班がまた、4～5 人のチームに分かれています。剪定バサミのスカン・スカンという音がとても心地よく、先輩方も優しく教えてくださるのでやる気満々でしたが、当然毎回庭の様子や樹木の種類、植えられている場所



や意図また四季によっても剪定の仕方が違うので戸惑うことばかりです。早く頭に留めたいと思ってもすぐに抜けていき、樹木の名前も落花落葉すると見分けがつかず先輩にたずねてばかりです。

それでも雑然とした庭が見事にスッキリ美しく整っていく様はとても嬉しく、お客様に喜んでいただける時は最高です。初心者向けの講習会やプロの職人の方の仕事を見学する企画もあります。

脚立等が上がったり、刃物を使用するので



安全作業に徹して、自身の健康維持のためにも長く続けていけたらとハリキッています。

安全就業【自転車用ヘルメット】

組織活性・安全委員会

令和6年度の安全就業標語のテーマは自転車事故防止です。都内のシルバー人材センターでは自転車による事故が増えているために安全意識の浸透を図って自転車事故を減らしていかうとテーマにしています。当シルバー人材センターの会員さんも就業の行き帰りは自転車を利用されている方が多いと思います。自転車利用時の転倒事故も報告されています。

改正道路交通法の施行により、令和5年4月1日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化され1年がたちますが、ヘルメットは着用していますか。「自転車事故で死亡した約64.9%が、頭部に致命傷を負っています。また、ヘルメット着用状況による致死率では、着用している場合と比較して、着用していない場合の致死率は約2.7倍と高くなっています。自転車用ヘルメットを着用し頭部を守る事が重要です。」（警視庁ホームページから）

自転車用ヘルメットを着用し、交通ルールを守り、元気に家に戻りましょう。

「ヘルメット かぶって安心 見て安心」（鈴木 俊雄 会員）

令和6年度 安全就業標語の審査結果

約2か月の募集期間中228作品の応募がありました。仕事別グループや、グループ就業している職群へも呼びかけて、安全就業をグループで考える機会になったと思います。一人就業の現場でもそれぞれ安全対策を考えるきっかけになっていることと思います。ご協力ありがとうございました。組織活性・安全委員会で第1次審査、安全標語選考委員会で第2次審査を行い、厳正な審査の結果6作品を東京しごと財団に推薦しました。

1. 東京しごと財団テーマ「自転車事故防止」応募数127作品

- ゆずり合う 心の余裕が 事故防止 根 征喜
- ヘルメット かぶって安心 見て安心 鈴木 俊雄
- 段差あり スリップ注意 雨の日は 榎本 英二

2. 小平市シルバー人材センターテーマ「就業前の事前準備」応募数101作品

- 就業前 すべて点検 事故はなし 篠田 卓也
- もう一度 慣れと油断の 再確認 小川 清
- 甘くない！ 老いも若きも 準備運動 前田 光信

推薦した6名の方には記念品をお渡しします。



「安全心得10ヶ条」

- ①作業は安全第一を心がけ、急いだりあわてたりしないこと。
- ②器具類は、使用する前に必ず点検すること。
- ③服装・履物は、作業に合った動きやすいものにすること。
- ④作業前には、軽い柔軟体操をして体をほぐすこと。
- ⑤加齢による諸機能の低下を十分に認識し、無理をしないこと。
- ⑥作業現場は、常に整理整頓を心がけること。
- ⑦共同作業では、合図、連絡を正確に行なうこと。
- ⑧帰宅するまでは仕事のうち、交通事故に気をつけること。
- ⑨健康には常に注意し、良好な状態で就業すること。
- ⑩仕事の前日は、十分睡眠をとるように心がけること。



センター「パネル展」を開催しました

昨年10月に引き続き、令和6年1月29日（月）から2月2日（金）まで小平市役所庁舎1階ロビーにてセンター「パネル展」を開催しました。

広報ボランティア委員会の委員がポケットティッシュとパンフレットの配布を行い、シルバー人材センターをPRしました。

仕事の依頼や、会員登録の相談など様々な反響があり、10月の実施時より、多くの方にポケットティッシュの配布を行うことができました。



次号「令和6年夏号」は、^{7月6日発行予定} リニューアル誌面でお届け！！ ^{お楽しみにねっ}



会員のみなさんがそうであるように、『年輪』も老け込まず「より見やすく、読みやすく、見映えよく」をめざし、ちょっぴり若づくりしてみようと考えています。編集ツールを現行のWindowsからMacへ変更、新しいコンテンツもいろいろ企画中です！

環境グリーンフェスティバルに出店します！

日時：令和6年5月12日（日）10：00～15：00

場所：小平市立中央公園

当センターでは、限りある資源を大切に再利用するため、会員の皆様からの提供品を販売します。ご家庭内に提供いただける品物がございましたら、5月7日（火）までにシルバー人材センター事務局までお持ちください。

※品物の状態によっては、お断りさせていただく場合がございます。



第14回 定時社員総会開催のご案内

- ・日時 令和6年6月18日（火）
- ・会場 小平市福祉会館 市民ホール
- ・内容 令和5年度事業報告
令和5年度決算書類の承認
決算書類の承認等



会員のひろば



小川西町 江原 薫

五・七・五で詠む！
シルバー「あるある」

【年輪川柳】

投句大募集！

昨秋の10月号からスタートし、早くも名物コーナーとなりつつある『年輪川柳』です。会員のみなさんが日々の暮らしのなかで、就業の現場で、ふと感じることや思わず笑ってしまうこと、いろいろありますよね。そんなシルバーライフならではの「あるある」を、気軽にユーモラスに五・七・五の17文字に詠んでみるのも味なもの。自慢の一句ができたなら、いつでも投句してください。本名でもOKですが、雅号を名乗ればさらに面白さが増します。詠んで楽しく、読んで楽しい『年輪川柳』へ、シルバー会員、全員集合！！

年だからと頼む客より年上だ

花小金井南町 水ようかん

ブツブツと誰に言うでなく独り言

学園東町 毎日能天気

多くね コンビニよりも整骨院

美園町 ヤンババ

数独は目に悪いと反論し

上水南町 そろそろ

本人は思い込んでも現実には

学園西町 日々精進

理事会の動き



決議・報告事項

第10回理事会（12月28日）

1. 12月期入会会員の承認（12名：男性4名 平均70.2歳 女性8名 平均70.8歳）
2. 規程等の改正（案）等について
（コンプライアンス遵守規程・情報セキュリティ管理要綱の策定（案）等）
3. 令和6年度専門委員会事業計画（案）について
4. 令和6年度予算編方針（案）について
5. 役員賠償保険の加入について

第11回理事会（1月25日）

1. 1月期入会会員の承認（13名：男性8名 平均70.7歳 女性5名 平均66.8歳）

第12回理事会（2月22日）

1. 2月期入会会員の承認（13名：男性6名 平均73.3歳 女性7名 平均69.0歳）
2. 令和6年度事業計画（案）について
3. 令和6年度収支予算書（案）・収支予算書内訳書（案）・資金調達及び設備投資の見込を記載した書類について

令和6年度会費納入のお願い

今年度の会費2,000円が未納入の方は、事務局まで直接納入、又は郵便局の振替口座に振込んでください。

口座番号 00140-1-755843 口座名義（公社）小平市シルバー人材センター

※就業中の方は、配分金から引き落とします。

※ 会費はセンター運営に必要な経費の一部に充てますので、就業の有無にかかわらず毎年5月末日までに納める義務があります。退会を希望される方は退会届を提出し、会費が未納の場合は納めてください。また、年度末の3月末までに退会届を提出しない場合は次年度の会費が発生しますのでご注意ください。

皆さんの投稿お待ちしております

7月6日号の原稿締切は
5月6日です。



『年輪』会員のひろば 係

会員のひろばは、会員同士の交流の場です。皆さんの日々の感想、ひとこと、何でも結構です。形式にはこだわりません。お届けください。

- 届 け 方 郵送、事務局持込み、Eメール
- 『年輪』発行月 4月、7月、10月、1月
- 原稿締切日 発行月の2ヵ月前

新しい仲間 (12・1・2月 入会者)

Welcome

第1地域	
氏名	住所
小川 俊雄	小川町
小林 かな子	小川町
廣瀬 亘	小川町
保積 明子	小川町
新井 健司	上水新町



第2地域	
瀬尾 功	栄町
下田 万佐子	小川西町
石川 千代子	小川東町
齊藤 正俊	小川東町
鈴木 藤一郎	小川東町
田中 光江	小川東町

第3地域	
菊地 いづみ	上水本町
岸野 弘孝	上水本町
須田 美登里	上水本町
竹田 博	上水本町



第4地域	
阿部 定子	大沼町
内山 弘	大沼町
尾崎 恭子	大沼町
池田 彰	美園町
池田 みや子	美園町
佐藤 芳宏	美園町
田中 康子	美園町
横 敏光	美園町

第5地域	
家原 えり	喜平町
谷畑 忠夫	喜平町
重信 雅子	上水南町
十川 正	鈴木町
十川 玲子	鈴木町
田谷 恵美子	鈴木町
望月 修	鈴木町
渡辺 洋子	鈴木町

第6地域	
石垣 たき子	花小金井
関 昭夫	花小金井
日ノ下 ユミ	花小金井
深澤 伸幸	花小金井
澤崎 洋子	花小金井南町
森 登美子	花小金井南町

追悼

配分金支払日



4/17 (水)	5/17 (金)
6/17 (月)	7/17 (水)

ご冥福をお祈り申し上げます

小林 美代子 様	88 歳	鈴木町
並木 勇 様	75 歳	花小金井
笹山 健次 様	77 歳	喜平町

事業実績

令和5年度	受託件数 (件)	就業人数 (人)	就業率 (%)	配分金 (千円)	材料費 (千円)	事務費 (千円)	計 (千円)	会員数 (人)		
								男性	女性	合計
11月	828	888	70.8	40,069	3,107	4,341	47,517	841	413	1254
12月	730	755	59.8	35,966	3,321	4,004	43,291	843	419	1262
6年1月	519	865	68.2	31,263	4,614	3,652	39,529	846	423	1269

編集後記

このたびの能登半島沖を震源とする地震により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈り申し上げます。

「自転車死亡事故の64.9%が頭部に致命傷を負っています」(警視庁ホームページから)

自転車は身近で便利な交通手段ですが、自転車用ヘルメットを着用し、頭部を守り周囲に気を付

け慎重に運転しましょう。

『年輪』は紙面での会員同士の交流を深める場でもあります。「年輪川柳コーナー」、「会員の広場」、「仕事紹介(私の職場)」、「ちょっとひと休み」、「私の〇〇」、詩、短歌、俳句、旅行記、写真、絵や版画など、皆様の積極的な投稿をお待ちしております。

(広報・ボランティア委員 『年輪』編集グループ S・I)

